

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金支払株主確定日	12月31日
中間配当金支払株主確定日	6月30日
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00～17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関(☎0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 郵便物の発送／返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711 (平日9:00～17:00)

手続き用紙のご請求先
● 音声自動応答電話によるご請求
☎0120-244-479 (24時間)

株主・投資家の皆さまへ

業績報告書

- 2014年度第2四半期決算報告
- JT NEWS
- JTグループ商品のご紹介
- CLOSE UP! (JTグループ企業・事業部紹介)
- JT TOPICS
- 旅路の先で出会う温故知新



海外たばこ事業が引き続き利益成長を牽引



代表取締役社長

小泉 光臣

2014年度第2四半期 (国内4-9月、海外1-6月の連結)

今期は、海外たばこ事業における単価上昇効果および為替影響により、売上収益および調整後営業利益は堅調な実績となりました。

海外たばこ事業(1-6月期)の販売数量は、ロシアや欧州での総需要減少等により対前年5.6%の減少

となりました。一方、自社たばこ製品売上収益および調整後営業利益は、単価上昇効果および為替影響によりそれぞれ7.6%、10.4%成長となりました。

1-9月期の速報実績では、トルコの「キャメル」やスペインの「ベンソン&ヘッジズ」「ウinston」の好調などにより販売数量の減少率は改善しました。

引き続き、単価上昇効果を中心とした質の高いトップライン成長を追求するとともに、継続的なコスト最適化に取り組んでまいります。

国内たばこ事業では、消費税増税後の仮需反動影

響による一時的な販売数量の減少により、自社たばこ製品売上収益は7.0%の減少、調整後営業利益は7.4%の減少となりましたが、さらなるブランド・エクイティの強化に努めたことにより、シェアは消費税増税以降着実に回復しております。

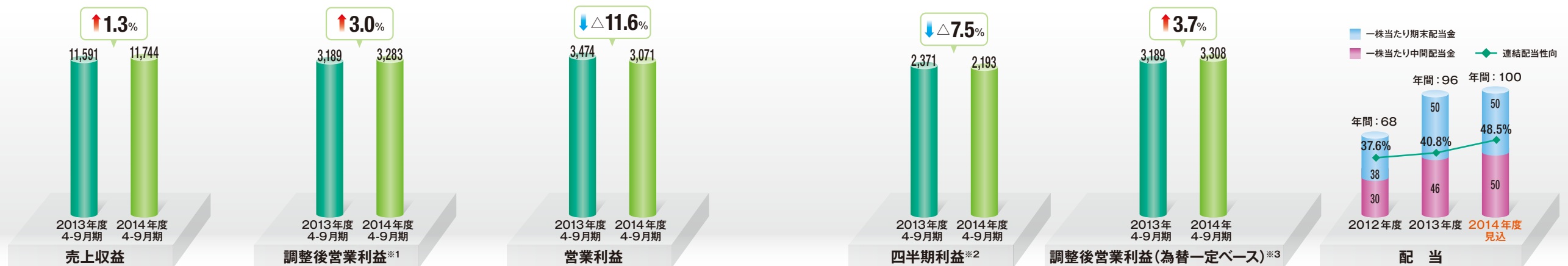
引き続き、「MEVIUS(メビウス)」や、高単価商品への投資を通じ、シェア伸長を目指してまいります。

厳しい事業環境が継続しておりますが、引き続き変化への対応力を高め、持続的な利益成長を果たしてまいります。

2014年度

第2四半期累計実績

(単位：億円)



(単位：円)

※1 調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費土調整項目(収益及び費用)*

*調整項目(収益及び費用)＝のれんの減損損失土リストラチャリング収益及び費用等

※2 親会社所有者に帰属

※3 13年度第2四半期は実績値、14年度第2四半期は海外たばこ事業について13年度第2四半期と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを適用した場合の全社調整後営業利益

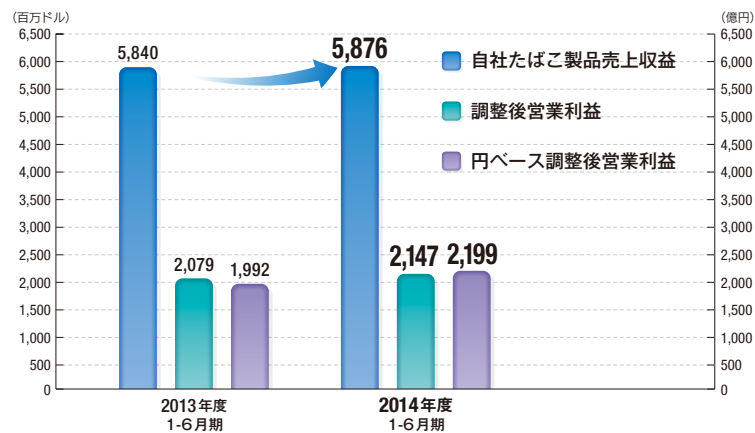
海外 たばこ事業

単価上昇効果により堅調な実績

ロシアおよび欧州を中心とした総需要減等の影響により販売数量は5.6%の減少となりましたが、為替影響および単価上昇効果によりドルベースでの自社たばこ製品売上収益、調整後営業利益はそれぞれ0.6%、3.3%の成長となりました。邦貨換算時に円安影響を受けた結果、円ベースの自社たばこ製品売上収益は7.6%増、調整後営業利益は10.4%増となりました。

海外たばこ事業実績

※海外たばこ事業については、2014年1月～6月実績



自社たばこ製品売上収益

5,876 百万ドル ↑ 前年同期比 +0.6%

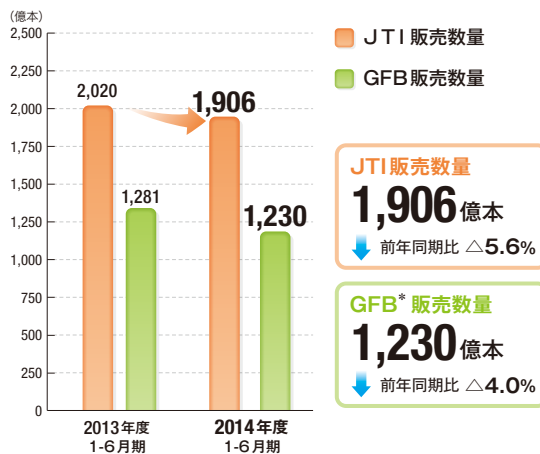
調整後営業利益

2,147 百万ドル ↑ 前年同期比 +3.3%

円ベース調整後営業利益

2,199 億円 ↑ 前年同期比 +10.4%

海外たばこ事業販売数量実績



JTI 販売数量

1,906 億本 ↓ 前年同期比 △5.6%

GFB* 販売数量

1,230 億本 ↓ 前年同期比 △4.0%

主要市場シェア

	2013年6月	2014年6月	増減
イタリア	21.6%	20.9%	△0.7%pt
フランス	19.3%	20.4%	+1.1%pt
スペイン	20.4%	21.3%	+0.9%pt
英国	40.2%	41.0%	+0.9%pt
ロシア	36.2%	35.7%	△0.5%pt
(うちGFBシェア)	22.4%	23.5%	+1.1%pt
トルコ	26.4%	26.9%	+0.5%pt
台湾	39.4%	38.7%	△0.8%pt

* JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「MEVIUS (メビウス)」「ペンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソプラニー」「グラマー」の8ブランドのこと

※出典: IRI, Nielsen, Logista

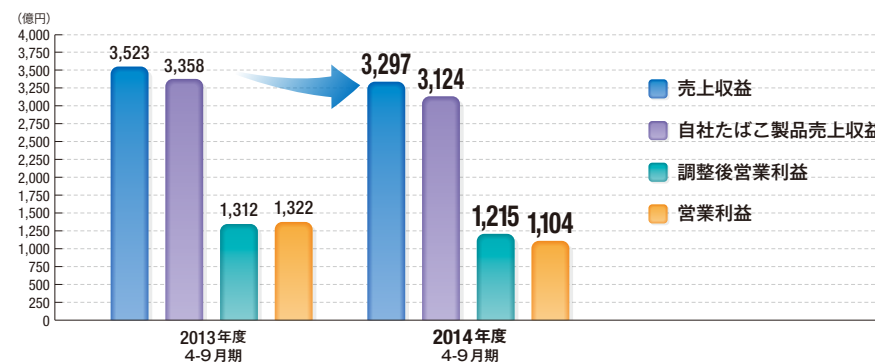
※%ptは、パーセントポイントの略

国内 たばこ事業

ブランド・エクイティ強化によりシェアは着実に回復

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響により、当第2四半期の販売数量は対前年で10.2%の減少となりました。一方、厳しさを増す競争環境の中、お客様の更なるリテンション施策を含めたブランド・エクイティ強化により、当第2四半期のシェアは59.9%と消費税増税以降、着実に回復しております。

国内たばこ事業実績



売上収益

3,297 億円 ↓ 前年同期比 △6.4%

自社たばこ製品売上収益

3,124 億円 ↓ 前年同期比 △7.0%

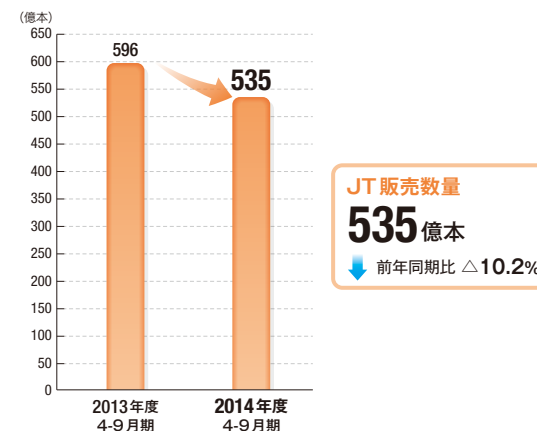
調整後営業利益

1,215 億円 ↓ 前年同期比 △7.4%

営業利益

1,104 億円 ↓ 前年同期比 △16.5%

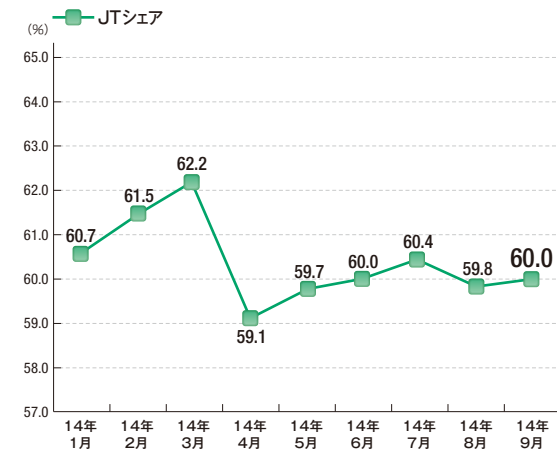
JT 販売数量実績



JT 販売数量

535 億本 ↓ 前年同期比 △10.2%

JT 製品の市場シェア



医薬事業 スギ花粉舌下薬が国内販売開始

導出品である抗HIV薬「Vitekta」(JTK-303)が2014年9月に米国にて承認を取得しました。また、スギ花粉症を対象とした減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬「シダトレンスギ花粉舌下液」を10月より国内で販売を開始しました。なお、当第2四半期における売上収益は、前年同期に導出品の開発進展に伴う一時金収入があったこと等により、対前年20億円減収の284億円となりました。調整後営業利益については、減収により10億円悪化し64億円の損失となりました。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2014年10月30日現在)

開発名 (一般名など)	想定する適応症/剤形	開発地域	開発段階					備考
			Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 (elvitegravir) / cobicistat/ emtricitabine/ tenofovir alafenamide 配合錠	HIV感染症/経口	国内	国際共同治験*					新規配合錠 JTK-303(elvitegravir)は自社品、他3成分は導出品(Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病/経口	国内 海外						自社品
JTZ-951	腎性貧血/経口	国内 海外						自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患/経口	海外						自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患/経口・外用	国内						自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患/経口	海外						自社品
JTE-350** (ヒスタミン塩酸塩)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/注射剤	国内	(申請準備中)					導出品 (ALK社) 鳥居薬品㈱と共同開発
JTT-251	2型糖尿病/経口	海外						自社品
JTT-252	2型糖尿病/経口	海外						自社品
JTK-351	HIV感染症/経口	国内						自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする
* Gilead Sciences社の国際共同治験に参画
**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

導出品

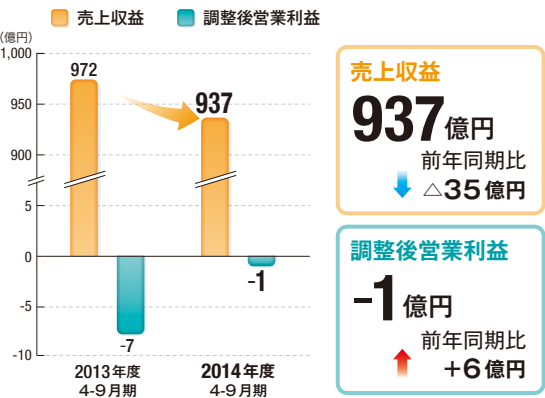
一般名等 (当社開発番号)	導出先	備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences社	(適応:HIV感染症) 新規配合錠(elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide) Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	(適応:メラノーマ dabrafenib併用) Phase3
抗ICOS抗体	MedImmune社	

前回公表時(2014年7月30日)からの変更点
<導出品> ・Elvitegravir単剤につき、Gilead Sciences社が米国で承認取得(2014年9月24日FDA公表)

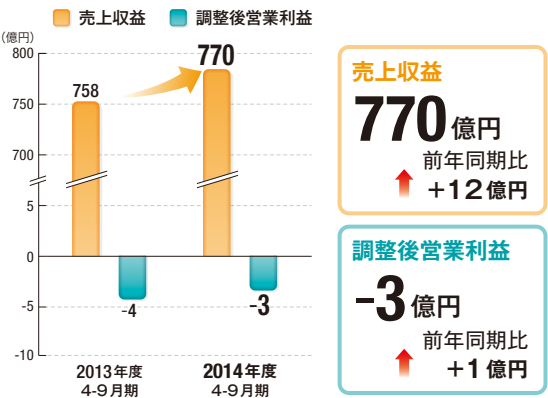
飲料事業 積極的な商品投入を継続
加工食品事業 冷凍うどんをはじめとするステープルが好調に推移

飲料事業においては、主力の「ルーツ」や「桃の天然水」を中心とした積極的な商品投入に努めました。しかしながら、夏場の天候不順が影響し、当第2四半期の売上収益は対前年35億円減収の937億円となりました。調整後営業利益は、効率的な経費執行等により対前年6億円の改善となりました。
加工食品事業においては、冷凍うどん発売40周年記念などの販促活動に取り組んだことから、ステープルが好調に推移し、売上収益は対前年12億円増収の770億円となりました。調整後営業利益は、増収影響を円安に伴う原材料価格の上昇が相殺し、対前年と同水準となりました。

飲料事業実績



加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動及び原材料費の変動
- ⑩ 自然災害及び不測の事態等

連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2014年3月31日)	当第2四半期 (2014年9月30日)	増減金額
資産			
流動資産	1,489,713	1,395,941	△93,772
非流動資産	3,127,053	2,971,243	△155,810
有形固定資産	779,987	764,575	△15,412
のれん	1,584,432	1,520,064	△64,367
無形資産	385,101	362,716	△22,385
投資不動産	61,421	17,973	△43,448
退職給付に係る資産	16,530	9,502	△7,028
持分法で会計処理されている投資	106,107	102,359	△3,747
その他の金融資産	92,596	96,232	3,636
繰延税金資産	100,880	97,821	△3,059
資産合計	4,616,766	4,367,184	△249,582

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2014年3月31日)	当第2四半期 (2014年9月30日)	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,255,834	1,081,432	△174,402
非流動負債	764,842	716,533	△48,309
負債合計	2,020,675	1,797,965	△222,710
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,505,610	2,482,349	△23,261
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	0
自己株式	△344,463	△344,449	14
その他の資本の構成要素	251,107	142,173	△108,934
利益剰余金	1,762,566	1,848,225	85,658
非支配持分	90,481	86,870	△3,611
資本合計	2,596,091	2,569,219	△26,872
負債及び資本合計	4,616,766	4,367,184	△249,582

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point1 流動資産

現金及び現金同等物並びに仮需影響の反動による販売本数減等により、営業債権及びその他債権が減少しました。

point2 のれん

為替影響により減少しました。

point3 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	増減金額
売上収益	1,159,116	1,174,450	15,333
売上原価	△470,797	△473,936	△3,139
売上総利益	688,319	700,514	12,195
その他の営業収益	47,244	10,387	△36,858
持分法による投資利益	455	3,518	3,063
販売費及び一般管理費等	△388,656	△407,353	△18,697
営業利益	347,363	307,065	△40,298
金融収益	2,703	5,956	3,253
金融費用	△10,991	△10,069	922
税引前四半期利益	339,075	302,952	△36,123
法人所得税費用	△98,018	△79,803	18,215
四半期利益	241,057	223,149	△17,908
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	237,147	219,340	△17,807
非支配持分に帰属する四半期利益	3,910	3,809	△101
四半期利益	241,057	223,149	△17,908

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結包括利益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	増減金額
四半期利益	241,057	223,149	△17,908
税引後その他の包括利益	170,235	△131,265	△301,500
四半期包括利益	411,292	91,884	△319,408
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	407,634	87,992	△319,642
非支配持分に帰属する四半期包括利益	3,659	3,893	234
四半期包括利益	411,292	91,884	△319,408

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,211	204,376	181,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,839	△55,198	△63,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,330	△219,075	△178,745
現金及び現金同等物の増減額	△9,280	△69,897	△60,617
現金及び現金同等物の期首残高	142,713	253,219	110,506
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	6,855	△11,378	△18,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,288	171,943	31,655

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point4 売上収益

海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響等により増収となりました。

point5 営業利益

固定資産売却益の減少及び国内たばこ事業の競争力強化に向けた施策に係る一部費用の計上等により減益となりました。

point6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資不動産の売却による収入の減少により、減少しました。

point7 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の償還、配当金の支払額の増加等があったため、減少しました。

決算期（事業年度の末日）の変更に関するお知らせ

JTグループは、2014年12月期をもって、決算期を現行の3月31日から12月31日に変更いたします。

当社グループは、現在、120以上の国と地域で事業を展開するグローバル企業として、着実な成長を続けております。こうした中、海外連結子会社と決算期を統一することで、内外一体となった決算・管理体制の強化・効率化を図る

とともに、経営情報の適時・的確な開示を図り、経営の透明性をさらに高めることが目的です。

決算期変更の経過期間となる第30期は、2014年4月1日から2014年12月31日までの9か月決算となります。2015年からは、当社およびすべての連結子会社につきまして、1月1日から12月31日までの12か月決算となる予定です。

■ 2014年度の決算期について

- 国内事業：2014年4月－12月（9か月）
- 海外事業：2014年1月－12月（12か月）

決算期統一									
		2013年度				2014年度			2015年度
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
国内		2013年度				2014年度			2015年度
海外	2013年度				2014年度				2015年度

第30回定時株主総会について（予定）

決算期変更に伴い、第30回定時株主総会につきましては、右記の日時・場所で開催する予定です。取締役会において正式に決定後、2014年12月31日現在株主名簿に記載又は記録された株主様へあらためてご案内いたします。

日時

2015年3月20日(金) 午前10時

場所

ザ・プリンス パークタワー東京
(東京都港区芝公園4丁目8-1)※

※前回（第29回）定時株主総会の開催場所「東京プリンスホテル」とは会場が異なりますので、ご注意ください。

“東北復興”を掲げた音楽イベント
「RockCorps supported by JT」にJTが特別協賛

JTは、東日本大震災復興支援の一環として、「RockCorps supported by JT」へ特別協賛をしました。

「RockCorps」は「4時間以上のボランティア活動をすると、アーティストの音楽イベントに参加できる」というシンプルな仕組みで、楽しみながら気軽に参加できる社会貢献の形を提案するプロジェクト。2003年にアメリカで誕生し、これまで世界9か国で14万人以上が参加しています。アジア初開催となる今回は“東北復興”をテーマに掲げ、被災地域の復興支援につながる農業支援や環境再生などのボランティア活動に約5か月間で4,478名が参加しました。

9月6日には、プロジェクトを締めくくるとライブイベント“セレブレーション”を、あづま総合体育館（福島県福島市）で開催。NE-YO、コブクロ、May J.、flumpoolの4組の人気アーティストが、東北やボランティア参加者へエールを送りながらライブを展開しました。

JTは本イベントを通して、地域が活性化し復興の一助となること、そしてより多くの方々が被災地の皆様を見守り続け、支援の輪が広がるきっかけとなることを期待しています。



『JTフォーラム』を全国各地で開催中



『JTフォーラム～ひとのときを、想う。～』は、「良質な文化の芽を地域から育てていきたい。そして地域文化に貢献したい」という地方新聞社の理念と、JTの考えが一つになって開催している地方新聞社主催の文化イベントです。

今年も全国の各会場に、さまざまな分野で活躍されている著名人を講師としてお招きし、ここでしか聞くことのできない貴重なエピソードの数々を披露していただいています。今後の開催予定など、最新情報はホームページをご覧ください。

JTフォーラム

検索

<http://www.jti.co.jp/knowledge/forum/>

プレステージブランド「ピース」確立の先駆け

「ピース・アロマ・ロイヤル」 「ピース・アロマ・クラウン」誕生

価格：各500円（20本入）

Peace

アロマ・ロイヤル・
100's・ボックス

ピース・アロマ・ロイヤル・100's・ボックス
タール値：10mg／ニコチン値：1.0mg

Peace

アロマ・クラウン・
100's・ボックス

ピース・アロマ・クラウン・100's・ボックス
タール値：6mg／ニコチン値：0.6mg

特撰バージニア葉を贅沢にブレンドし、「ピース」ならではの芳醇な香りをより一層高めた「ピース・アロマ・ロイヤル・100's・ボックス」（10mg）と「ピース・アロマ・クラウン・100's・ボックス」（6mg）の2銘柄を、全国で発売しています。

2銘柄とも、味・香りの特に強い特撰バージニア葉をブレンドし、さらに、バージニア葉本来の香りを引き立たせる厳選された香料を使用。また、素材の良さを最大限に活かすため、加工処理として、たばこの刻みを瞬間加熱することで雑味を取り除き、香料をより引き立たせる「新トリミング製法」を採用しています。

これらのこだわりにより、「ピース」らしいしっかりとした吸い応えとコクのある旨み、また華やかで気品のある香り立ちを、より一層お愉しみいただける商品に仕上げています。

担当者コメント

この商品は、JT最高級銘柄「ザ・ピース」の好意的な評価や「ピース」ブランドが持つ高いロイヤルティを背景に、「ピース」をたばこ市場におけるプレステージブランドとして確立するために開発したものです。

他業界でも注目されている“ちょっとした贅沢”をしたいお客様向けの商品をたばこ市場でも創出するべく、中身も外見も“ワンランク上”の品質に徹底的にこだわりました。

今後も、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな価値・満足を継続的に提供してまいります。

JT たばこ事業本部
マーケティング&セールスグループ
マーケティング戦略部
羽崎 洋介



「粗刻み」製法で、かつてない香ばしさを。「極細刻み」製法で、まるやかさ際立つ。

「キャビン・ゴールドワイルド・8・ボックス」 「キャスター・ゴールドシルク・6・ボックス」 新発売

価格：各440円（20本入）

12月上旬
新発売!

CABIN

ゴールドワイルド・
8・ボックス

キャビン・ゴールドワイルド・8・ボックス
タール値：8mg／ニコチン値：0.7mg

CASTER

ゴールドシルク・
6・ボックス

キャスター・ゴールドシルク・6・ボックス
タール値：6mg／ニコチン値：0.6mg

12月上旬
新発売!

「キャビン」「キャスター」の特徴ある喫味を、新製法でさらに極めた「キャビン・ゴールドワイルド・8・ボックス」「キャスター・ゴールドシルク・6・ボックス」の2ブランドを、「ゴールドシリーズ」として、12月上旬に発売します。

「粗刻み」製法の「キャビン・ゴールドワイルド」は、高温処理によるロースト感ある香ばしさに、葉たばこ本来の味わい深い「コク」を感じられる製品に。

「まるやかさ」と「香り立ち」が際立つ「キャスター・ゴールドシルク」は、「極細刻み」製法により、まるでシルクのようなきめ細やかな煙を実現しました。

高級感あるパッケージは、それぞれのベースカラーを活かしながら、デザインも統一。グラデーション（キャビン）やパールチップ（キャスター）など、チップペーパーにも“こだわり”が満載です。

そしてなにより極めた喫味は、「たばこを味で選ぶ」楽しさを思い出させてくれるものに仕上がっています。

担当者コメント

今回は異なるブランドである「キャビン」と「キャスター」を、1つのシリーズ（ゴールドシリーズ）として発売いたします。

それぞれ「粗刻み」「極細刻み」と特徴的な製法を採用したことで、「キャビン」の香ばしさ、「キャスター」のまるやかさといった各ブランドが持つ個性を、これまで以上に感じることのできる喫味となっています。

今後も、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな価値・満足を継続的に提供してまいります。

JT たばこ事業本部
マーケティング&セールスグループ
マーケティング戦略部
宇田川一弥（左）、石原達也（右）





新発売

- ▶ 果実体感シリーズより、秋冬の果物リンゴが新登場
- ▶ リンゴ果肉のシャキシャキ食感

果実体感 きざみ林檎

375gボトル缶／150円（消費税別）

担当者コメント

旬を迎える季節の果物リンゴのおいしさを、特許を取得した果実体感製法で仕上げました。まるでリンゴにかじりついたような、シャキシャキ食感と、蜜入りリンゴのような甘さと程よい酸味を楽しめます。ぜひ、グラスに注いでみてください。

JT 飲料事業部 商品開発部 岡田健太郎



イオン商品!

- ▶ 本場イタリアのエスプレッソの味わいを再現!
- ▶ 「ブレンド・焙煎、挽き方、機械、人」にこだわった豊かな香りと深いコク

ルーツ「アロマエスプレッソ」

165gタンブラーショット缶／115円（消費税別）



イオン商品!

- ▶ ルーツ史上最も香る新焙煎方法「最香焙煎」採用
- ▶ ミルクとコーヒーのコク豊かな味わい

ルーツ「アロマデミタス」

165gタンブラーショット缶／115円（消費税別）

新発売



サクうまっ! 牛肉コロッケ

6個入／162g

- ▶ 衣サクサク、中はホクホク! 甘さが広がる味わい
- ▶ ご飯はもちろん、コロッケサンドなどパンにも合います

担当者コメント

北海道産ホクホク男爵いも使用。牛肉の旨みとほんのり甘さが広がるコロッケです。テーブルマークの独自技術を活かして、揚げたてのサクとした衣の食感を再現しました。お弁当のおかずはもちろん、パンに挟んでコロッケパンなど、さまざまな使い方をお楽しみください。

テーブルマーク（株）商品開発部
魚住智子



新発売



- ▶ コク味噌に仕立てたつゆに、歯ごたえのよい根菜を中心に8種具材
- ▶ 麺は風味のよい小麦全粒粉入り

1/3日分の野菜使用 8種具材の煮込みうどん

1食入／389g

リニューアル
発売!



- ▶ パッケージデザインを一新! 「とろみが旨味」の広東麺シリーズ
- ▶ 生麺のようなコシ ノンフライ麺

広東拉麺

株式会社 ジャパンビバレッジホールディングス

自動販売機専門オペレーターNo.1企業として

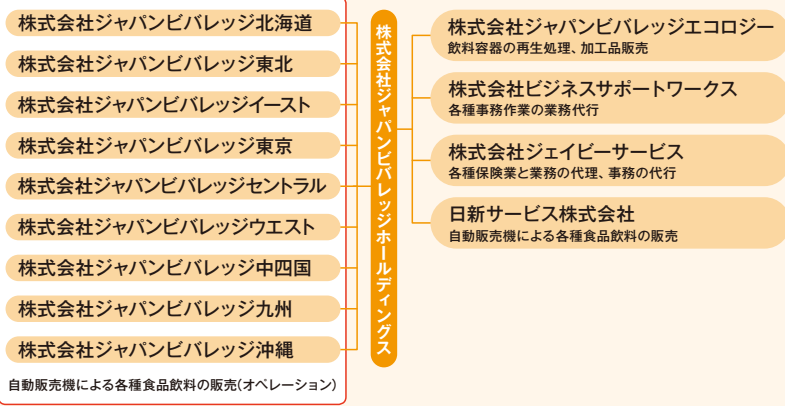
ジャパンビバレッジグループは、全国に約26万台の自動販売機等を運営する自動販売機専門オペレーターです。1958年の創業以来、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆さまに潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造することを理念に、事業活動を行っています。



株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
代表取締役社長 酒元 潤一

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

本社所在地	東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル
代表者	代表取締役社長 酒元 潤一
資本金	5億円
設立	1958年7月 ※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立



ジャパンビバレッジグループは、持株会社を中心にグループ会社13社、119か所の事業拠点、従業員5,400名が、日々お客様満足度の向上を目指して全国で活動しています。缶やペットボトルを販売する缶・ペット機、ブリック機、食品自動販売機を扱う「パッケージ事業」、コーヒーなどを紙カップで販売するカップ機を扱う「カップ事業」、給茶機やコーヒーサーバーなどを扱う「リテール事業」、そして企業内・学校内で運営する売店事業を柱に事業を展開しています。

■ お客様のニーズに合った自動販売機を導入から メンテナンスまでトータルでサポート

飲料自動販売機の業界は、主にメーカー系列の会社と、当グループのような専門オペレーターに分かれますが、専門オペレーターの強みは、さまざまなメーカーの売れ筋商品を1台の自動販売機にまとめた“コンビ機[®]”を武器に、幅広い商品をお客様に提供できることです。

「パッケージ事業」では、過去のデータや時代のトレンド、季節感、さらにCMや広告、ブランド浸透度をベースに、数百アイテムにも上る商品の味やパッケージデザインを評価。“売れる商品”を判断して取扱量を決め、その方針を全国の拠点へとスピーディーに展開しています。

また、本格レギュラーコーヒーをはじめとした豊富な商品を取り扱う「カップ事業」、オフィスなどに給茶機やコーヒーサーバーを設置する「リテール事業」でも、きめ細やかなオペレーションとサポートで最高の味をご提供しています。



リテール事業が扱う、オフィス内等に設置する給茶機。今後の成長が期待される事業でもある

(注) コンビ機[®]とは…
JT製品を含む複数のメーカーの売れ筋商品を販売する自動販売機のこと

■ 「グリーン・オペレーション」で 人と環境に潤いを

自動販売機のオペレーターとして、缶やペットボトルなどのリサイクルに取り組むことは、循環型産業を構築する上で、重要な社会的責任と考えています。

当グループでは、業界初となる飲料空容器の再資源化に着手、2003年再資源化工場「リサイクル・プラザJB」を埼玉県に設立し、今年で11年目を迎えました。

その他にも当グループでは、省エネ自動販売機の積極導入、ルート車両の低公害車への入替え、事業所の屋上緑化、また次世代を担う子どもたちへの環境学習支援、地域環境保全への支援活動など「グリーン・オペレーション」を基本テーマに、総合的な取り組みを推進中です。

こういった取り組みが評価され、2011年には農林水産大臣賞、2012年には環境大臣表彰、2013年にはさいたま環境賞を受賞しました。

ジャパンビバレッジグループの「グリーン・オペレーション」



「リサイクル・プラザJB」では、子どもから大人まで幅広く工場見学を受け入れており、缶・ビン・ペットボトルの資源循環の現場をご覧いただけます。

リサイクル・プラザJB 見学お問い合わせ

HP <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/>
電話 048-652-6671



2014/2015 バレーボールシーズン開幕!

**JTサンダーズ(男子)、JTマーヴェラス(女子)ともに
“最高の結果”を目指して始動します!**



JTサンダーズ

バレーボールの国内最高峰リーグ「V・プレミアリーグ」で昨シーズン優勝決定戦まで進み、フルセットの激闘の末、惜しくも“優勝”にあと一步届かなかったJTサンダーズ。

今シーズンの目標は“優勝”ただ一つ! 創部以来の念願である初優勝を目指した戦いが11月16日(日)から幕を開けました。

ヴェセリン・ヴコヴィッチ監督体制2年目の今シーズンは、日本代表・越川優選手の主将就任や、現役ブラジル代表のヴィソット選手の加入などをはじめ、あらゆる面でチーム力を底上げ。日本の頂点を勝ち取るため、チーム一丸となって挑みます。

試合日程や選手・スタッフのプロフィールなどは、

JTサンダーズ

JTサンダーズ

検索

公式ホームページでチェック!

JTマーヴェラス

昨シーズンは多くの故障者を抱え、万全の体制ではない中で「V・チャレンジマッチ」(リーグ入れ替え戦)を戦い、惜しくも敗れたJTマーヴェラス。今季から「V・チャレンジリーグ」に参戦し、1年での「V・プレミアリーグ」復帰を誓ったシーズンが11月15日(土)から始まりました。

タイ代表のエース・オヌマー選手や、実績のある移籍組、即戦力クラスの新人選手など新戦力も充実。平均年齢23.3歳と若いチームは、技術、体力はもちろんのこと、大事な場面で1点をもぎ取る強い精神力を大切に、目標に向け邁進していきます。

試合日程や選手・スタッフのプロフィールなどは、

JTマーヴェラス

JTマーヴェラス

検索

公式ホームページでチェック!



金沢市立玉川図書館 [石川県]

住民から愛された町のシンボル
「赤レンガ工場」を図書館に再利用

明治37(1904)年に、たばこの製造・販売が大蔵省専売局によって行われると、たばこ製造工場が日本各地に建てられました。この時に建てられたほとんどの工場が赤レンガ造であり、東京「日本橋」のデザインや、「横浜赤レンガ倉庫」などを手がけた、建築家の妻木頼黄によって設計されたといわれます。

かつて石川県金沢市玉川町にも、大正2(1913)年に建てられた赤レンガ造のたばこ工場があり、町のシンボルになっていましたが、昭和47(1972)年に取り壊されました。しかし建物の一部を保存し、新たな造作を加えて建てられたのが現在の

『玉川図書館』です。

その後、玉川図書館に隣接していたJT金沢支店が平成20(2008)年に移転し、同支店の建物が『玉川こども図書館』として再利用されることになりました。このとき、地元住民の要望により、JR西金沢駅に隣接していたJT金沢工場(2009年閉鎖)に移されていた赤レンガ工場の時計台部分が再び玉川図書館の敷地に戻ってきたのです。

赤レンガ造の建物部分は保存状態が良く、近代化産業遺産として国の有形文化財に指定されており、時計台は変わることのない“時”を刻み続けています。



現在は「近世史料館」として公開されている、威風堂々たる赤レンガ造の工場建物部分



時計台と「玉川こども図書館」(旧日本専売公社金沢地方局～JT金沢支店建物)』



大正期に撮影された赤レンガ工場建物(現存している部分は正面左側部分と正面中央上部時計台) 画像提供/たばこ塩の博物館



JR 金沢駅

加賀藩前田家のお膝元、石川県金沢市。たばこ工場ができる前の江戸時代、『玉川図書館』の敷地には、加賀藩家老・長氏の屋敷がありました。図書館から徒歩10分圏内には『金沢城』、『兼六園』等があり、絶好のロケーションといえます。現在は、赤レンガ工場建物を有する玉川図書館自体も観光スポットの1つになっており、県内外からの観光客が数多く訪れるとのこと。

2015年3月14日には「北陸新幹線」の開業もあり、一層の盛り上がりを見せる金沢市。金沢の町を散策する際は、重厚な赤レンガ建物も見学してみるのはいかがでしょうか。

■ 金沢市立玉川図書館

所在地/〒920-0863 石川県金沢市玉川町2-20

お問い合わせ先/076-221-1960

開館時間/午前10時から午後7時(火曜～金曜)

午前10時から午後5時(土・日・祝・休日)

休館日/月曜日・特別整理期間(6月第一月曜日～翌々日、11月最終月曜日～翌週金曜日)
年末年始(12/29～1/4)

<http://www.lib.kanazawa.shikawa.jp/tama1.htm>



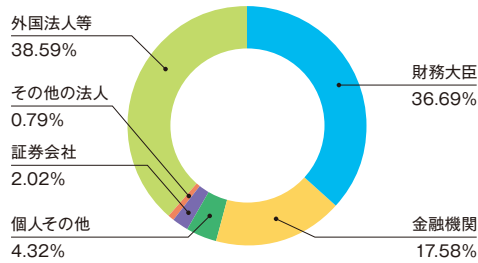
会社概要

商 号	日本たばこ産業株式会社	設 立	1985年(昭和60年) 4月1日
本社所在地	〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル	資 本 金	1,000億円
	TEL.(03) 3582-3111(代表) FAX.(03) 5572-1441		

株式の状況

2014年9月30日現在

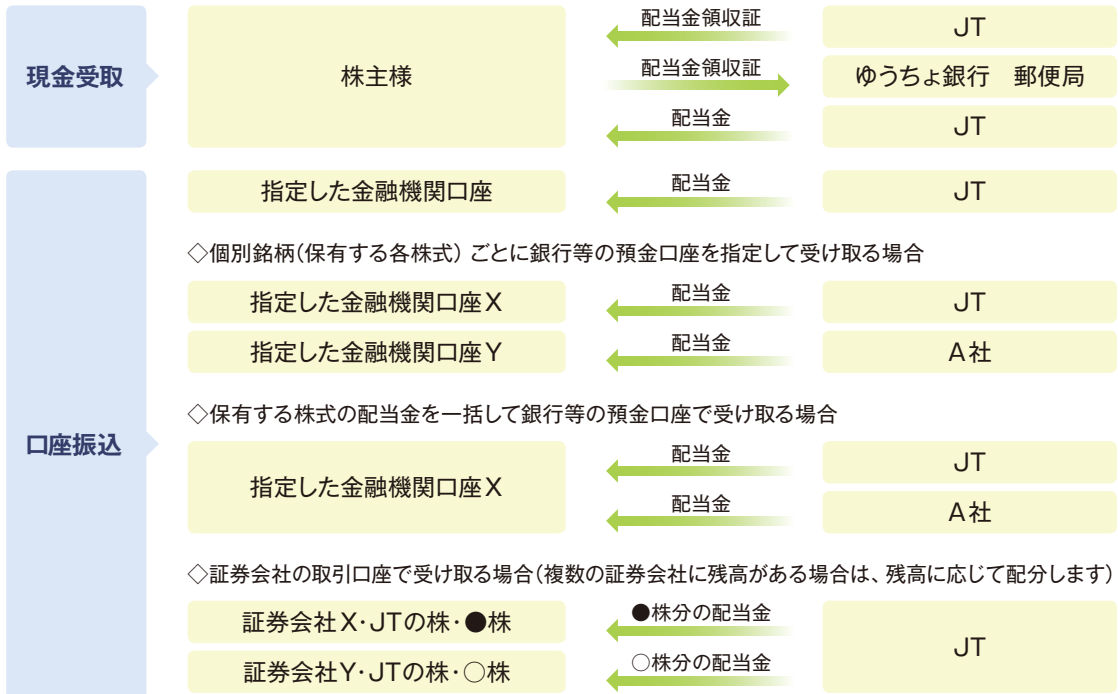
所有者別構成比(自己株式を除く)



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 182,444,388株)	2,000,000,000株
株主数	125,094名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

取締役

取締役会長	丹呉 泰健
代表取締役社長	小泉 光臣
代表取締役副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	大久保憲朗
代表取締役副社長	佐伯 明
取締役副社長	宮崎 秀樹
取締役	岡 素之
取締役	幸田 真音

監査役

常勤監査役	中村 太
常勤監査役	湖島 知高
監査役	上田 廣一
監査役	今井 義典

執行役員

社長	小泉 光臣
副社長	(コンプライアンス・企画・人事・総務・法務・監査担当) 新貝 康司
副社長	(医薬事業・飲料事業・加工食品事業担当) 大久保憲朗
副社長	(たばこ事業本部長) 佐伯 明
副社長	(CSR・財務・コミュニケーション担当) 宮崎 秀樹
専務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 飯島 謙二
専務執行役員	(コンプライアンス・総務担当) 千々岩良二
専務執行役員	(企画責任者) 岩井 睦雄
常務執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長) 村上 伸一
執行役員	(たばこ事業本部 渉外責任者) 山下 和人
執行役員	(たばこ事業本部 R&D 責任者) 米田 靖之
執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長) 佐藤 雅彦
執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長) 川股 篤博
執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長) 福地 淳一
執行役員	(医薬事業部長) 藤本 宗明
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長) 大川 滋紀
執行役員	(飲料事業部長) 松田 剛一
執行役員	(CSR担当) 永田 亮子
執行役員	(人事責任者) 佐々木治道
執行役員	(財務責任者) 見浪 直博
執行役員	(コミュニケーション責任者) 前田 勇気
執行役員	(総務責任者) 山田 晴彦
執行役員	(法務責任者) 廣渡 清栄
執行役員	(企画副責任者) 筒井 岳彦

株価の推移

1994年10月27日上場～2014年10月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています